かわべ

発行
河辺村公民館
編集
館報編集委員会
☎ 河辺 17番
佐川印刷 KK
吉田町北小路 ☎2－0600

すてない・こわさない・よごさない
クリーン愛媛運動を展開

自然に恵まれた郷土の環境を守り、住みやすく快適なものにするため、愛媛県生活運動推進協議会が中心となって「クリーン愛媛運動」を提唱し、七月の強調月間には関係各団体の協力を得、清掃作戦を立てて強力に推進されました。

重点目標としては

(ア)ゴミ減量、再利用化の推進
(イ)ドライバーによるゴミ投棄防止の呼びかけ
(ウ)行楽地のゴミ持ち帰りなど環境汚染の防止と美化対策

に取りくみました。

特に最近では、清流として誇りを持っていた肱川も川下での水泳は禁止を余儀なくされるなど、問題が深刻になってきました。

一人の「これくらいのこと」と思われることが、現在の予想外の結果を生じているのです。

本村も、去る七月十六日には住民総ぐるみによる美化奉仕作業が一斉に実施されました。みなさん本当にごくろうさまでした。

この運動を契機として「すてない、こわさない、よごさない」を合言葉にして、郷土河辺の環境美化を守るため、今後共に皆様の深いご理解とご協力をお願いいたします。

（愛媛県生活運動推進協議会
大洲喜多支部長　稲田三温）

よい子・よい親をめざして
幼児家庭教育講座がスタート

「三つ子の魂、百までも」のたとえもあるように、幼児期は周囲の親などの配慮によって大きく左右され、人生の最も大切な時期であるといわれています。

公民館では大切な時期にある、幼児をもつ親を対象とした家庭教育の重要性を考え、三才児の両親に対しては〝家庭通信教育〟を実施しております。

これは三才児のもつ特性や、さまざまなしつけのあり方等をわかりやすくして、各家庭に送り届けて喜ばれています。

さらに、今年度の新しい事業としては、四才～五才児をもつ親を対象にした〝幼児家庭教育講座〟をはじめました。

この講座の特色は、情報化社会におけるテレビの活用をはかるというもので、今回はＮＨＫテレビ「お母さんの勉強室」の中で特に希望の多いテーマを選択し、あらかじめＶＴＲ（録画）しておき、これを視聴して話し合いを進める方法で、年間七回程度保育所において開催します。

すでに、六月には河辺保育所において開講式を行い、七月には北平保育所にて「幼児期の上手なほめ方、しかり方」のテーマを取りあげて活発な話し合いが行われました。

今後のテーマとしては「幼児の性」「幼児とテレビ」「わがままな子」などで、最終回は幼児教育専門の講師を迎え「よりよい家庭教育をめざして」学習する予定です。

このように幼児期の家庭教育をすすめていますが、テレビを利用した学習のねらいとしては

一、中央の講師の考え方を聞き、家庭教育の正しい理解と認識をはかる。

二、テレビという身近かな情報機器の活用法をみなおす。

三、テレビ番組を選択する機会としたい。

などの三点をかかげています。

幼児をもつ両親の責任は重大です。同じ立場の人々が集まり話し合い、よい子よい親をめざして頑張りましょう。

植松分館が優勝
ソフトボール大会終る

○七月十七日河辺中学校グランドにおいてソフトボール大会が開催された。朝のうち小雨で心配された天気ももちなおし試合には絶好の日和であった。

開会式も一時間遅れておこない、昨年優勝の北平分館より優勝旗の返還。教育長の始球式のあと試合開始。珍プレイがでて観客をわかせたり、予断を許さぬ好ゲームとなると一段と熱の入った応援合戦、強烈な当たりで逆転なるかと思われた大伍分館、北平分館の好守備に一点差で涙をのんだ一幕もあった。

最後に優勝をかけた一戦。今年こそはと勝ち抜いてきた植松分館二連覇をねらう北平分館、さすが両チームとも得点を許さず約二〇〇名の観客も必死の応援、結局五対三で植松分館が優勝した。

グランドの外では青年団がジュースなど売っており結構繁盛していたようである。

成績は次のとおり

優　勝～植松分館
準優勝～北平分館
敢闘賞～大伍分館
努力賞～坂本分館

河辺村人口動態

（Ｓ．52.7月１日現）

世帯数	620
人　口	2,307
男　子	1,153
女　子	1,154

（Ｓ．50．10　国調）

世帯数	666
人　口	2,368

（Ｓ．45．10　国調）

世帯数	718
人　口	2,810

ふるさとのみなさんへ

松山市
堀内　サユミ

「たくましく豊かに伸びし、ふるさとの姿ありあり館報に見ゆ」　私が一身上の都合により、松山に出ましてから早くも十七年が経過しました。

もう皆様方より、忘れ去られた存在であろうと思っていた矢先、館報を御送付いただき、いろいろな意味をこめてうれしくなつかしく拝見させていただきました。と共に、眼をみはるような進展ぶりに、驚きと喜びを感ぜずにはいられませんでした。

私が河辺にいた頃は、いわゆる草創期とでも申しましょうか、あらゆる面で順調に事が運ばず、上に立つ方々の御心労も多かったように推察していましたが、最近ではすべて軌道にのった状態のように思われ、本当に喜ばしい限りでございます。

故郷を離れまして以来、生きてゆくことに精一ぱいで皆様方の近況を知る由もなく、皆様より受けた御恩の一端もお返しできず、不義理を重ねており、ただ〳〵申し訳なく謹んでおわび申し上げます。

美しい大自然の山や川、その中に育まれたゆたかな人間愛、そんな点に思いを馳せながら故郷へお訪ねする日を子供のように待ちわびている私でございます。

夢多かりし乙女の頃、文学少女を自認していた私ですが年と共に筆不精になり、加えて常習病弱でございますのでこの辺で失礼させていただきます。

今後、ますます御発展の程お祈り申し上げております。

使用ずみの古い切手を集めよう!!
―ネパールの子ども達を救うために―

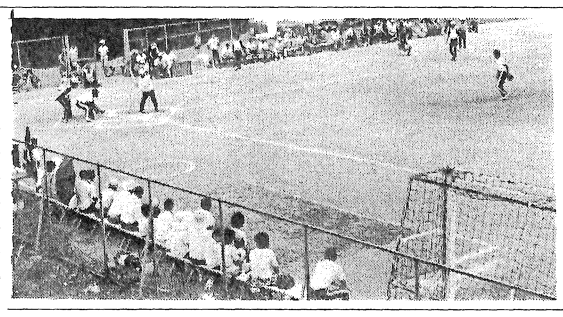
ヒマラヤのふもとネパールでは結核が国土全体に広がって、人々は大変苦しんでいます。この国の人々を助けるため、わが愛媛県出身の岩村昇医学博士夫妻が、ネパールに永住して診療を続けていられます。

この岩村先生のしごとを応援するため「古切手を集めてＢＣＧを送ろう。」という運動が昭和三十九年からはじまりました。

私達、坂本小学校でも三年前からこの運動に参加しています。

皆さんも古い切手を集めて下さい。

〝古切手は、はがさないで五ミリ程度のふちをつけて切りとり、坂本小学校へ送って下さい。〟



あなたのアイディア募集中
―村民運動会の新種目―

本年度の村民運動会をより楽しい内容にするため、みなさんのアイディアを取り入れたプログラムをつくりたいと思います。

〝参加する人も見物する人も、おもしろい新種目をお待ちしています〟

※宛　先～河辺村公民館
※〃　切～来る九月十日までに
※応募方法～種目の解説をくわしく書いて送付して下さい。
※謝　礼～種目を採用させていただいた方には粗品を進呈します。
※その他～種目採用の際、一部修正する場合もありますが御了承下さい。

お礼

河辺村社会福祉協議会のまごころ銀行へ次の二名の方より香典返しを寄附していただきました。故人のご冥福をお祈り申し上げますと共に、このご芳志を広く社会福祉のために役立てたいと考えております。館報を通じ厚くお礼申し上げます。

寄附金　一一五、〇〇〇円也

藤岡秀男殿　往見守殿

（河辺村社会福祉協議会）

やねばし

日中の猛暑に耐えて生きているこれ等に、朝夕頭から灌水してやると、植物だけでなく、人間様自身の身も心もすがすがしくなる。特に夕方の散水では、これによる涼風とあいまって、生き返ったような気持になる。

この涼感は都会のアパートの人々にとっては縁遠いことであろう。

「ふるさと」ということばを耳にすると、なんとなく心のときめきを覚えるが、都会に「ふるさと」があるであろうか。「ふるさと」の背景には、幼少時代の懐しい思い出がなければならない。

親子、兄弟、友だち、近隣の人々との心のつながりや、共同生活体験の場の思い出が「ふるさと」ということばをささえているように思える。したがって、現在では「ふるさと」は都会にはなく、田舎にのみ残されていると考える。

夏の行事として河辺でも、河川清掃、道つくり、お施餓鬼、七夕祭、うら盆、お念佛、盆おどお大師様接待等、いろいろな催しが行なわれている。

都会に行っている肉親、縁者、知人の多くが「お盆には河辺に帰るぞ」と、河辺に帰ることを年中の最大の楽しみとして帰ってくる。庭の草花、樹木への散水の涼風と、暖い思いやりの心で帰郷した人々を迎えるとともに、伝統ある諸行事を、私たちの代で終らせることなく、いつまでも河辺の心として残す決意を固めたいものである。

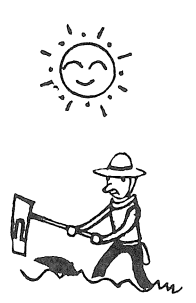
欲をいえば、埋もれた文化遺産があれば掘り起し、復活させたいものである。

（Ｉ）

夏の風物、それは灌水（散水）であろう。

田舎の家には、庭先に目を楽しませ心を慰めてくれる草花や樹木が植えられている。その上に、趣味や盆栽のある家も多い。

あすの農作業



水害管理メモ

◎水管理

八月に入ると、高温に伴って土壌が環元状態になりやすく、滞水のままでおくと根が酸素不足になり、根の活力が衰えやすいので、中干し後も時々落水する必要があります。

しかし、出穂期は稲が最も水を吸収する時期ですから深水状態にして下さい。

◎穂肥

穂肥は籾数、稔実に重要な役目を果す肥料ですから適期に適量施用して下さい。

施用時期は、出穂前二〇日頃が適期になりますが、一応の目安として早生品種で八月五日、中生品種で八月一〇日頃になります。

施用量は一〇アール当り一〇～一五キログラム程度の化成肥料を施用して下さい。

◎病害虫防除

(1)イモチ病

今年は葉イモチ病の発生が多く、穂イモチ病の多発が予想されるので、出穂期前後（約五日）に二回防除する必要があります。

(2)秋ウンカ、メイチュウ

早生、中生品種では八月二〇日頃までに防除をする必要があり、九月中旬には秋ウンカの防除をして下さい。

栗管理メモ

◎病害虫防除

(1)虫グリ（ゴマダラメイガ等）

虫グリの被害は八月下旬まで続きますので、八月上旬と下旬の二回エルサン粉剤を一〇アール当り二袋以上散布して下さい。

(2)天牛の防除

八月に入ると天牛がふ化し、樹幹内に食入をはじめますので、見つけしだい殺虫剤を注入するなどして防除をして下さい。

(3)アカイラガ

アカイラガは緑色をしたイラガで、六月下旬から七月中旬に葉を食害する害虫です。今年は村内全域で発生しましたが、九月から一〇月にかけても発生しますので十分注意をして下さい。

◎施肥

秋肥は樹勢の回復と枝の充実をはかり、翌年の雌花の着数に大きく影響します。

施用時期は早目に（八月中頃から）、施用量は一〇アール当り四〇キログラムを基準に施用して下さい。（大洲農業改良普及所）

工事現場訪問記①

生コン車がエンジンをかけて止っている。

曇天だが無風なので蒸し暑い七月十八日の午前十一時頃。

工事現場は村役場へ行く県道の分れ道から、沖宮・古野両氏宅裏にかけての埋立地である。

河辺川の青い葦の茂った川岸から築きあげた埋立地で、男女十五、六人が流れる汗をふき、枠板組の中へ、コンクリート打込作業中であった。

請負者は河辺建設。社長大野喜久雄氏が陽やけした真黒い顔で帽子も被らず采配を振っていた。

この建物は鉄骨建で屋根は大波スレート仕上げ。三十五m×十四mの総二階の膨大な建物となる。

階下は栗の撰果場、貯蔵室など、二階は作業室その他事務所等になるとのこと。

広い建坪だから撰果時以外には河辺村の特産ワサビ、ウド、ワラビ、梅などの加工にも転用できたらなあ…とは筆者のかすかな期待。

社長の施工方針は工員の安全作業が第一で、次は設計書通りの堅牢な工事を期待しているとのこと。

今やっているのは鉄骨柱の基礎工事で、二m×一m位の頑丈なもの、生コン車から人が一列に並んで手みの手送り作業である。

工員の帽子、姉さん被りの下で目が光る。手が動く。汗が落ちる。流し込みの生コンの音が間断なくリズムをとって耳に響くのだが、その実、工員らには肉体的労働の激しい作業である。

流れ作業という人間機械化の陰に黙々として捧げる、ひたむきな美しい労働者の姿を尊くも感じたのである。

竣工は秋の稲穂が垂れる頃、九月十五日の予定。

特殊林産物集出荷貯蔵施設現場

＊菊づくり熱たかまる＊

―鉢一鉢に愛情をこめて

河辺でもここ数年、鑑賞用菊の栽培が静かなブームを呼んでいる。これまでも愛好者の間では栽培を楽しむ人もいたが、それはほんの一部の人であった。

現在のブームは、去る四十九年に百合谷、日除、川上地区の婦人達が自分の手で鑑賞用の菊を育ててみたいという声が多く出て、大洲普及所の指導で講習会を何回か重ねるうち、その年には見事な大輪菊を咲かせ、また山王グループが自主的に菊の展示会を開くなど、すっかり魅せられて次第に他の地域へ影響を及ぼしてきた。

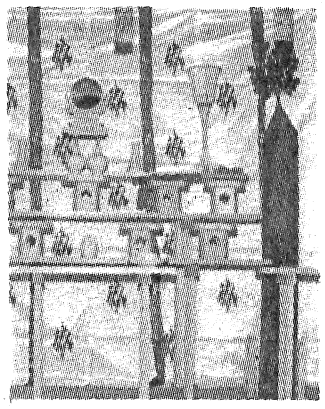
今年度は竹の瀬周辺で組織している〝しらかし会〟も講習会を開き、婦人や成人男子が熱心に受講しており「一鉢〳〵に愛情をこめて……」の指導のもとに真剣に取りくんでいる。

この秋の開花がたのしみである。

神式祭壇の利用について

神式祭壇につきましてはかねてより要望もあり、購入につきまして検討を重ねて参りましたが、社会福祉協議会、理事者の決定により購入する運びとなり、去る六月十日、価格三〇三、〇二〇円で購入いたしました。この財源につきましては住民の皆様方のご芳志により、まごころ銀行へ香典返しにかえてご寄附いただいた中より購入したものです。

以上の趣旨をご理解いただき、広く住民の皆様方のご利用をお願い申し上げます。利用料金は一日の場合～五、〇〇〇円、二日の場合～七、〇〇〇円。その他取扱いについては仏式祭壇に準じます。



この夏休みがチャンスです!!

お子さんのしっけを家庭で

夏休みは、お父さん、お母さんの出番です。

各家庭で指導をおねがいしたい主なものをまとめてみました。

1時間を守るしつけを!!

○生活設計（日課表）による時間を守らせること

○起床、ラジオ体操、食事、学習、遊び、手伝い、睡眠等

2学習のしつけを!!

○学習は毎日少しでもやらせること。宿題は必ずやらせる。

○わからない時はヒントを与える。

3遊びのしつけを!!

○だれとどこで何時に帰るを必ず報告させる。

○帰宅時間を厳重に、六時の時報を合図に

4手伝い仕事のしつけを!!

○あまやかして遊ばすことは子どものためになりません。

○勤労し汗を流す喜びを味わう。

5きまり(ルール)を守るしつけを!!

○ルールを守ることにより楽しい生活ができる。

水泳、遊び、交通その他

6礼儀作法のしつけを!!

○子どもは親の後姿を見て育ちます。形だけでなくこころが大切、特にあいさつを。

7整理整とんのしつけを!!

○自分のものは自分できちんと仕末する習慣を。

衣服、学用品、成績物、部屋

8保健衛生のしつけを!!

○歯みがき、手洗いの励行、虫歯の治療。

9不良化防止を!!

○明るい家族関係を保つことが基本です。正しい愛情、正しいしつけで。

10子ども会の活動を活発に!!

○地区子どものおたのしみ会

奉仕活動などすすめましょう。

11がまんさせることを!!

○がまんさせることがしつけの根本です。わがままは子どもの成長をとめることになります。

※わが子人の子の区別なく愛のひと声をかけ、子どもの健全な成長を願いたいものです。

（教研河辺分会特活部）

高校に進学して

藤原　円

高校に進学して、はや一学期が終ろうとしています。

この四ケ月たらずのうちにたいへん多くの貴重な経験をしたように思います。

第一に、私の心を支えていてくれたものは、自分の力などはほんの少量であって、その大半が両親と親友の力だと気づいたことです。

親と離れ、友と離れ、知らない人ばかり、一転した環境にポンと放り出された私は、一人では何も出来ないという情けなさを嫌でも感じなければなりませんでした。

淋しさと勉強に対する不安が入り交ってノイローゼ気味の青い顔をした日々が続きました。

今のように健康すぎる笑い声を出せるようになるまでには、周囲の人の励ましと努力が多分に必要でした。

幸い周囲の人々の励ましが多かったためか、ずい分早くこの生活に慣れることができました。

第二に、出合いの大切さをしみじみと感じ感謝できるようになったことです。

昨日まで全く知らなかった人と、今日からは親しい友だちになれるということは、本当にすばらしいことでした。

友だちづくりの下手な私も、今では浅く広いつき合いであれ、沢山の友を作ることができました。つき合って見れば、人はそれぞれによい人ばかりです。

最初は、大洲なんて来なきゃよかったとそればかり思っていた私も、大洲に来なきゃこの人たちに会えなかったんだと思うとここに来てよかったと思うようになりました。以上二つのこと、私は大きな発見であると思っています。

大好きな本も読めないような忙しい毎日ですが、私は私なりに精一杯努力して前進していこうと心ひそかに誓っています。

この三年間を、ただグレー一色で染めたいとは思いません。二度とこない若い日々を有意義に過ごしたいと思います。

広場

文芸

短歌

関井恵美子

夕ぐれのむらさき色は亡き母の
　枕べにありし桔梗を思う
姫百合もコスモスもカットグラス
　の一つより
今朝いきいきと水をあげたり

戸田薫明

朽ちてかけし奥歯いとしみ
掌にとりて
五〇余年のわれかとみつめて

盆近し帰省する子ら孫のこと
今朝また妻の話しつづける

中本文江

母在りてうから共に過ぎ越しの
故里ぞ思うカナカナ鳴けば

夏たけし真紅の入りつ日輝きて
没しつつあり夕雲残して

清水菊江

長雨も漸く去りてむし暑く
動ふんの音そこかしこより

雨やけて暑さきびしき小山田の
昔ながらの田草取りおり

俳句

角藤政千代

何も彼も忘れて一人夕端居
考うること多かりし夕端居

消息

（自5252・7・5　至7・10）

（出生） おめでとうございます。

植松父守　上久保賢
橡谷〃藤男　松本七
稲谷〃好常　城戸脇妙
露内〃進　露内智和
日の平〃明　松本明恵

（死亡） おくやみ申し上げます。

横山宗野ミナエ（三十九才）
坂本山本吉光（八十一才）